

## 資料 49.2012 年 2 月 9 日澤田氏メモ

○ 〈Y ストーリーに対する素朴な疑問〉 2012 年 2 月 9 日付沢田さんのメモ

- I. 故人となった石岡・石原<sub>元</sub>に対する直接的な取材・検証がない
- II. 当事者石原・沢田に対する取材・検証が信用できない（備忘録重視、表現の方法…）
- III. 厳しい冬山経験を持たない Y の薄っぺらな推測・判断による検証…
- IV. 何のためこのストーリーが作られたのか？
  - ・ 作成者として自信をもって活字にしたのか？
  - ・ これを何に使おうとするのか？
  - ・ そもそもこのストーリーは何の目的のため作られたか？
  - ・ 週刊誌的なセンセーショナルな展開・構成。そこへ近づけるための片寄った一方的な考察による検証
- V. 検事調書の作成方法での検証

以上から検証に値しない、人を傷つけるためだけの作文である。

○ 〈ストーリーの構成に対する見解〉 2012 年 2 月 9 日付沢田さんのメモ

- I. 石岡・高井会談、高井の心・葛藤は？
- II. 遭難原因
  - (1) 関係者の証言：現場に居合わせたものだけが真実
    - (ア) 石原：トップ交代は成り行き（若山がトップ交代に即反応）
    - (イ) 沢田：若山が「ボク行きます」と応えた
      - ① 誰がトップに立っても危険は避けられない。その結果は全員に及ぶこと、同体であることを認識
      - ② 若山が駄目なら、夏ルートで再チャレンジすべきかと考えていた
  - (2) 石原<sub>元</sub>の指示＝石原<sub>副</sub>が無視：指示は無い、ミーティングでも無い。行動は現場判断で、指示無視は無い
  - (3) 若山の起用：石岡・石原<sub>元</sub>会談内容？
  - (4) ザイル事件の影：要因である

2012.2.9.

< Y ストーリー に検証系が在る疑問。 >

- ① 故人と在る右岡 右原に在る直接的な  
取材検証が在る。
- ② 著者 右原、須田に在る取材検証が信用  
に在る。 ( 備忘録重視、表現の方法…… )
- ③ 冬山の冬山を載せるに在る Y の意図が在る  
推測、判断に在る検証。
- ④ 何のため、このストーリーが作られたのか？
  - ・ 作成者として、自信をもち、踏まえたのか？
  - ・ これを、何に使うと在るのか？
  - ・ 是か否か、このストーリーは、何の目的のため作られたか。
  - ・ 週刊紙の冬山に在る展開、構成。冬山に在る  
その片断が、一方の在る考慮に在る検証。
- ⑤ 検事調書の作成方法の検証

以上が、検証の例に在る。人は、在るに在るその作文に在る。